

鳥取県感染症発生動向調査情報(月報)

令和5年7月14日(金)
鳥取県生活環境部衛生環境研究所

令和5年第22週から第26週までの患者報告の状況

1 報告の多い疾病(インフルエンザ/COVID-19 定点29、小児科定点19、眼科定点5、基幹定点5からの報告数)

今回(22週～26週)5週 (R5.5.29～R5.7.2)	前回(17週～21週)5週 (R5.4.24～R5.5.28)	前々回(12週～16週)5週 (R5.3.20～R5.4.23)
1 新型コロナウイルス感染症(704) [↑337]	1 感染性胃腸炎 (801)	1 感染性胃腸炎 (844)
2 感染性胃腸炎 (671) [↓130]	2 新型コロナウイルス感染症 (367)	2 インフルエンザ (355)
3 ヘルパンギーナ (325) [↑305]	3 インフルエンザ (242)	3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (148)
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(272) [↑82]	4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (190)	4 突発性発疹 (26)
5 RSウイルス感染症(194) [↑116]	5 RSウイルス感染症 (78)	5 咽頭結膜熱 (18)
6 その他 (196) [↑85]	6 その他 (111)	6 その他 (21)
(合計 2,362)	(合計 1,789)	(合計 1,412)

注) 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、令和5年第19週からの報告件数。

※[]内は前回との比較を表す。↑は増加したもの、↓は減少したもの、数値は増減の件数である。

2 前回との比較増減

全体の報告数は2,362件であり、32%(573件)の増となった。

増加した疾病	減少した疾病
ヘルパンギーナ 1,525%	インフルエンザ 80%
RSウイルス感染症 149%	感染性胃腸炎 16%
新型コロナウイルス感染症 92%	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 43%	
咽頭結膜熱 41%	

3 コメント

- ・新型コロナウイルス感染症は、4月下旬からゆるやかな増加傾向が続いていましたが、6月末に入り顕著な増加がみられており、注意が必要です。新型コロナウイルスの感染力の高さに変わりはありませんので、周りの方や重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、エアロゾルを意識した換気や手洗い、医療機関受診時等でのマスクの着用などの感染防止対策を行きましょう。体調が悪い場合や陽性が判明した場合は自宅で安静に過ごし、症状に応じて医療機関を受診される際は、事前に電話相談の上、受診しましょう。
- ・ヘルパンギーナが急増しており、県内全域でヘルパンギーナ警報を発令しています。また、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症など、様々な呼吸器感染症でも増加傾向がみられており、注意が必要です。
ヘルパンギーナのウイルスにはアルコールが効きにくいいため、手洗いの徹底や換気などの感染予防をお願いします。
- ・感染性胃腸炎は、例年に比べ感染者数が多い状況が続いており、集団感染事例も確認されています。トイレやオムツなどの汚物処理の後や、調理、食事の前の手洗いを徹底しましょう。
- ・梅毒が増加しています。本年は6月末時点で既に昨年1年間の発生件数以上の感染が報告されており、注意が必要です。早期発見と適切な治療が必要です。感染の不安があるときは、早めに医療機関や保健所で検査を受けましょう。

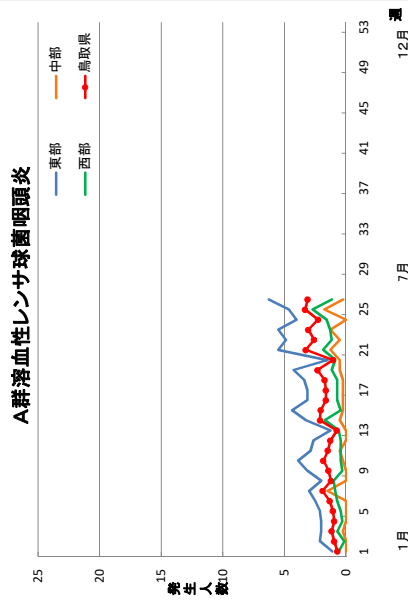
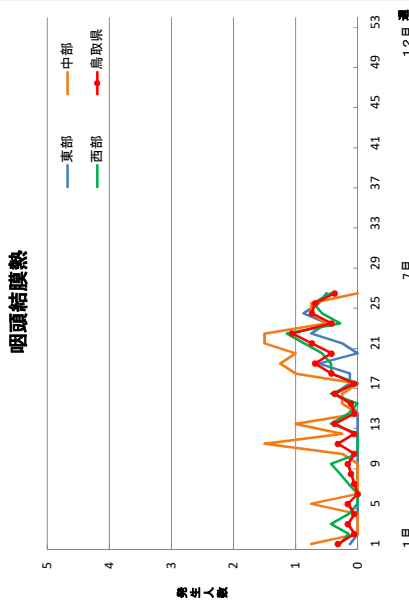
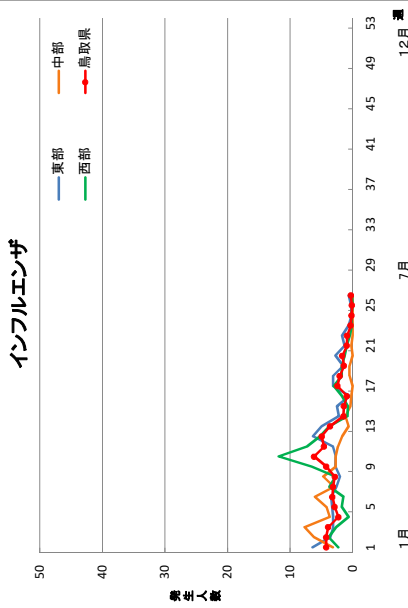
令和5年第22週～第26週の報告患者数

令和5年7月7日 作成

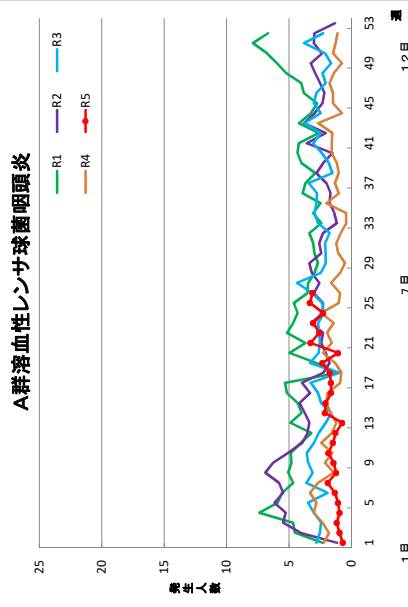
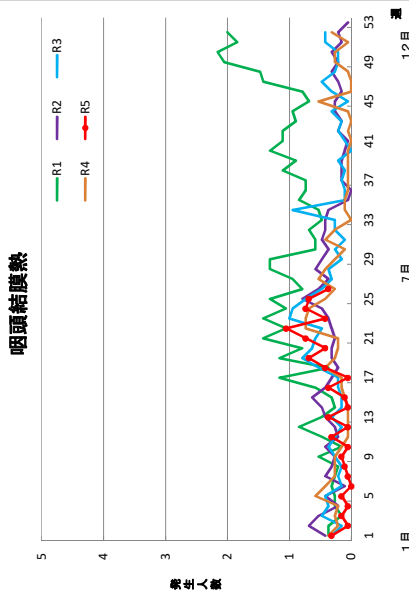
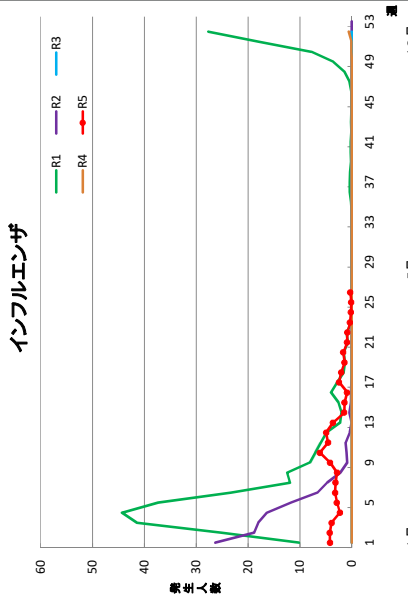
区 分	今回報告患者数 第22週～第26週(5週分)					前回報告患者数 第17週～第21週(5週分)				前々回報告患者数 第12週～第16週(5週分)				前回比 増 減	令和5年 患者数 累 計
	東部	中部	西部	計	増減	東部	中部	西部	計	東部	中部	西部	計		
	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
インフルエンザ/COVID-19定点数	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
1 インフルエンザ	40	0	9	49	-193	140	7	95	242	197	24	134	355	-80%	1,846
2 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	213	184	307	704	337	102	127	138	367					92%	1,071
小児科定点数	(8)	(4)	(7)	(19)		(8)	(4)	(7)	(19)	(8)	(4)	(7)	(19)		
3 咽頭結膜熱	26	14	22	62	18	9	19	16	44	4	7	7	18	41%	151
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	202	15	55	272	82	142	11	37	190	117	4	27	148	43%	875
5 感染性胃腸炎	349	155	167	671	-130	399	212	190	801	409	247	188	844	-16%	3,846
6 水痘	0	1	2	3	-1	1	0	3	4	2	0	1	3	-25%	20
7 手足口病	4	22	12	38	24	0	14	0	14	0	6	1	7	171%	68
8 伝染性紅斑	0	0	0	0	-1	1	0	0	1	0	0	2	2	-100%	5
9 突発性発疹	11	7	18	36	15	5	8	8	21	2	12	12	26	71%	139
10 ヘルパンギーナ	54	105	166	325	305	2	14	4	20	0	0	0	0	1525%	351
11 流行性耳下腺炎	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	2	3	0%	6
12 RSウイルス感染症	17	44	133	194	116	39	5	34	78	4	0	0	4	149%	288
眼科定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
13 急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	-	1
14 流行性角結膜炎	2	0	2	4	0	0	2	2	4	0	0	0	0	0%	10
基幹定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
15 細菌性髄膜炎	2	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	-	3
16 無菌性髄膜炎	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0%	3
17 マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
18 クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
19 感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0	0	0	0	-1	0	1	0	1	0	0	0	0	-100%	5
合 計	921	547	894	2,362	573	840	421	528	1,789	736	301	375	1,412	32%	8,688

注)新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、令和5年第19週からの報告件数。

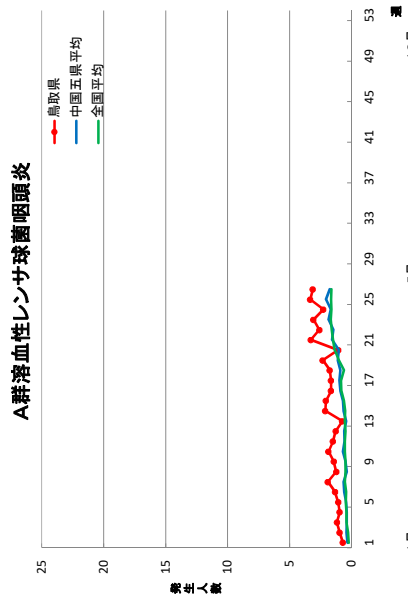
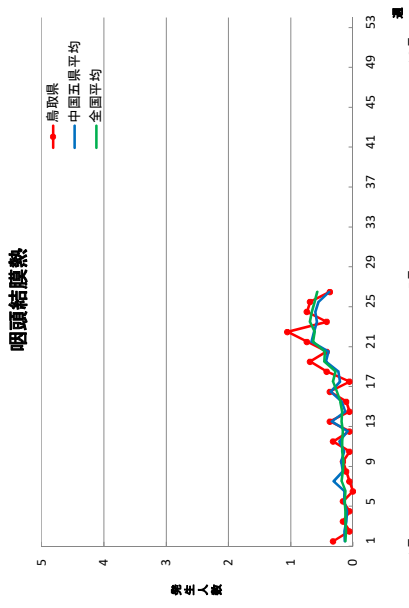
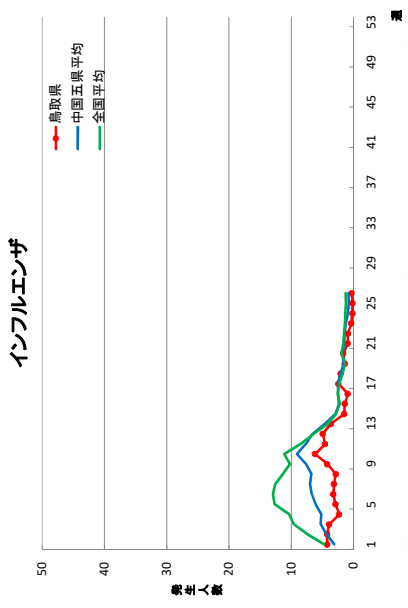
地区発生状況グラフ(定点当たり)



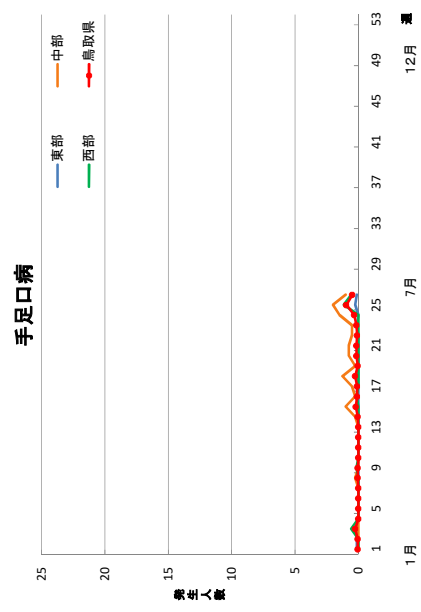
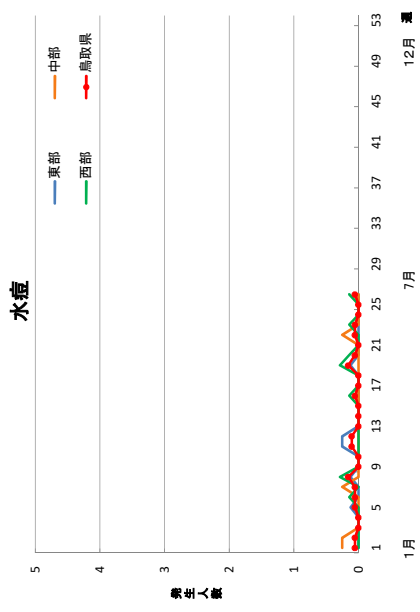
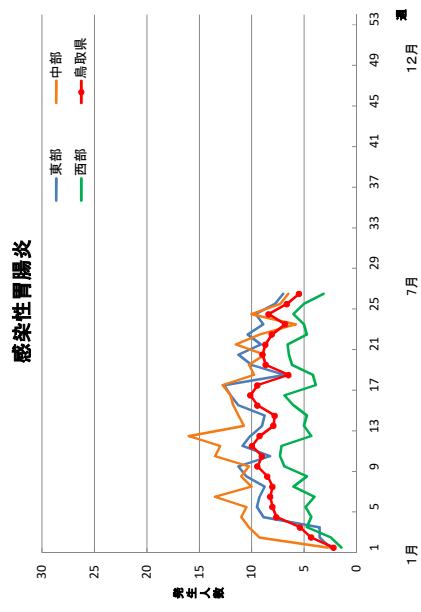
年次別発生状況グラフ(定点当たり)



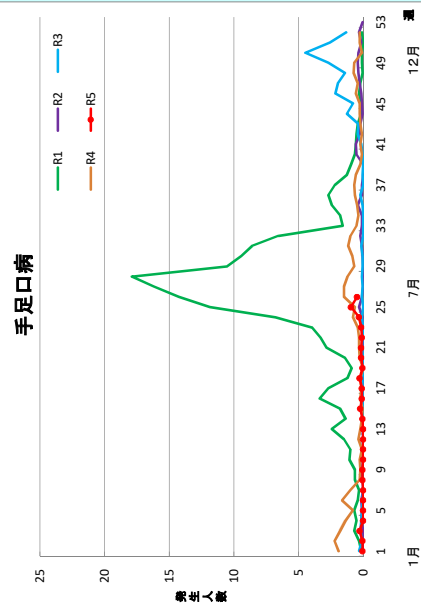
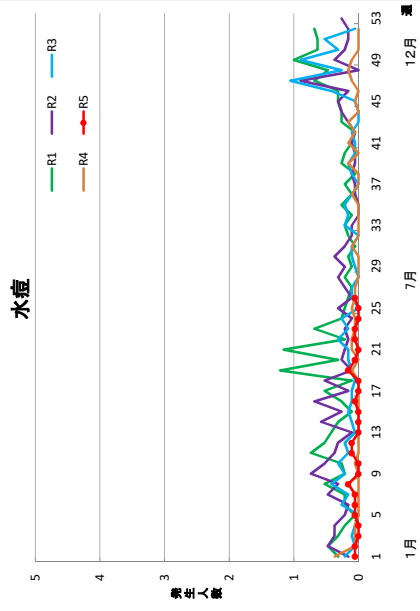
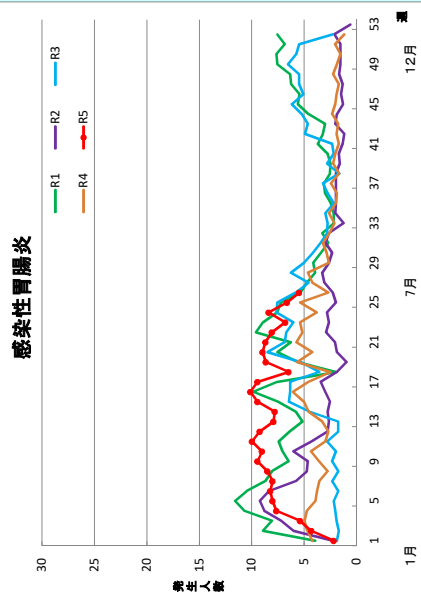
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



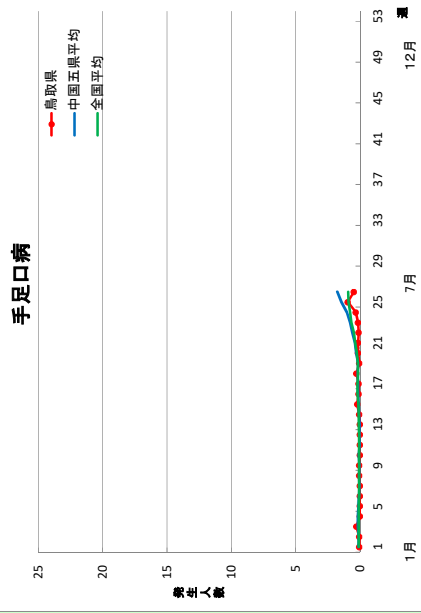
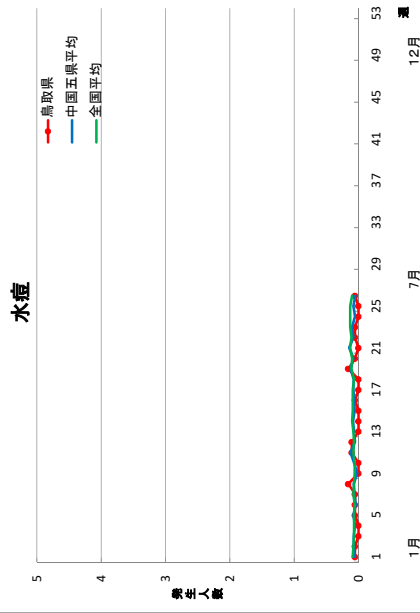
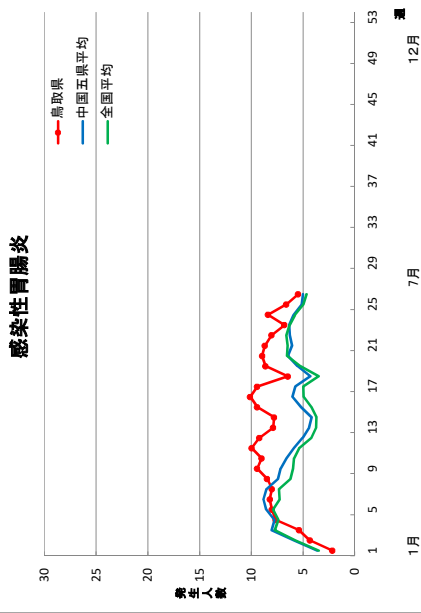
地区発生状況グラフ(定点当たり)



年次別発生状況グラフ(定点当たり)

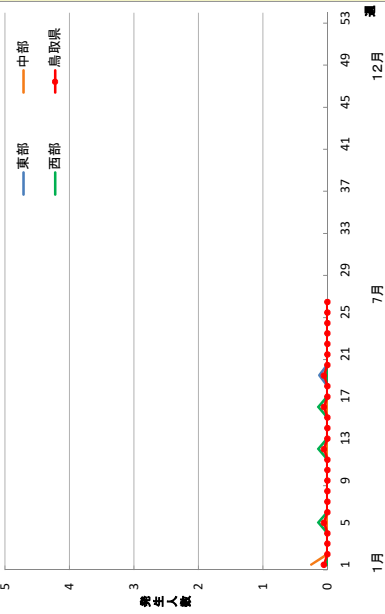


中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

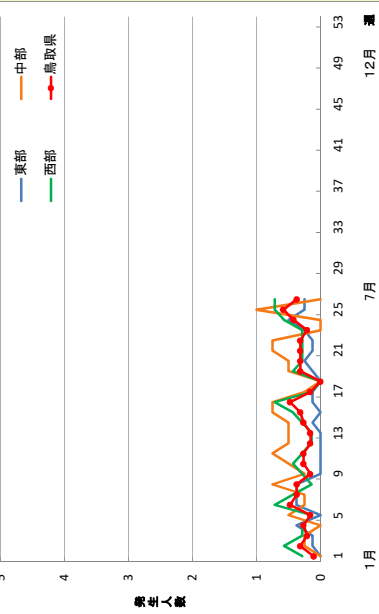


地区発生状況グラフ(定点当たり)

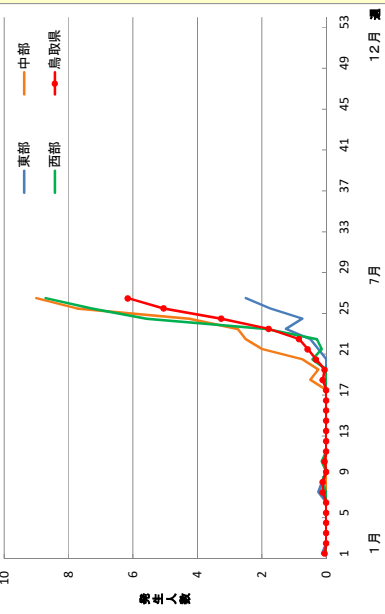
伝染性紅斑



突発性発疹

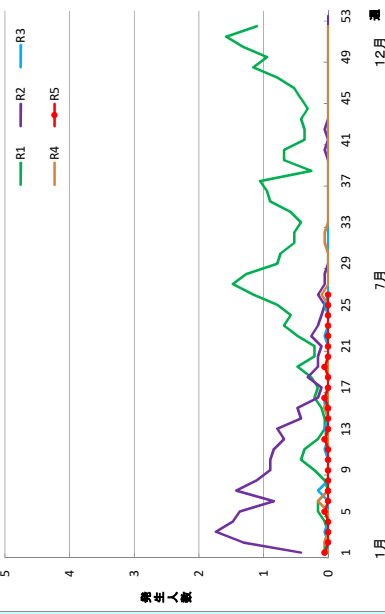


ヘルパンギーナ

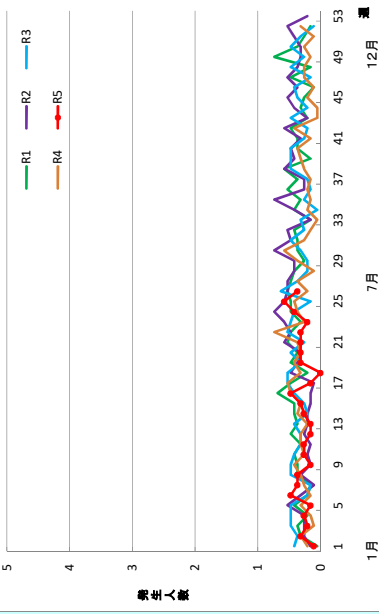


年次別発生状況グラフ(定点当たり)

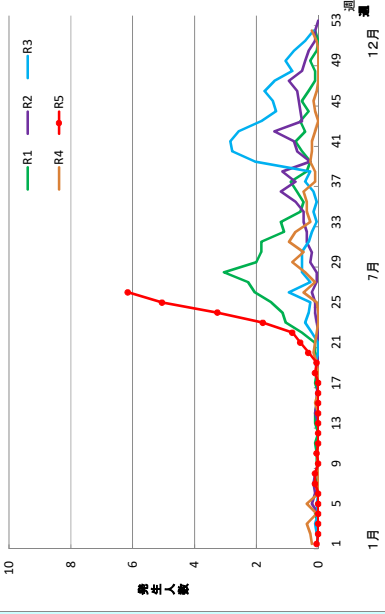
伝染性紅斑



突発性発疹

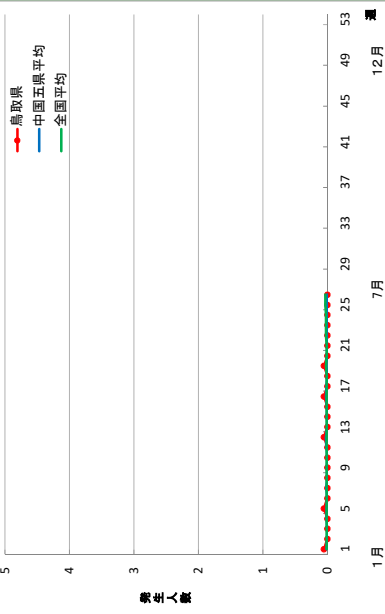


ヘルパンギーナ

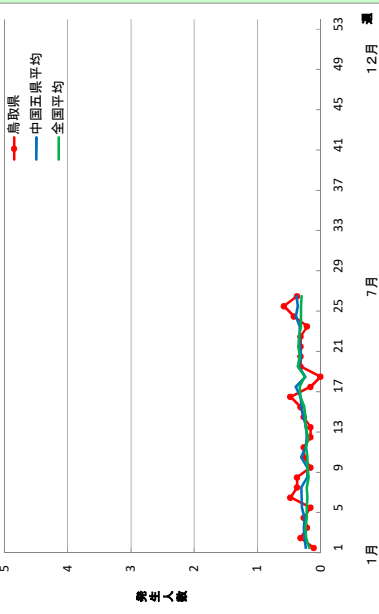


中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

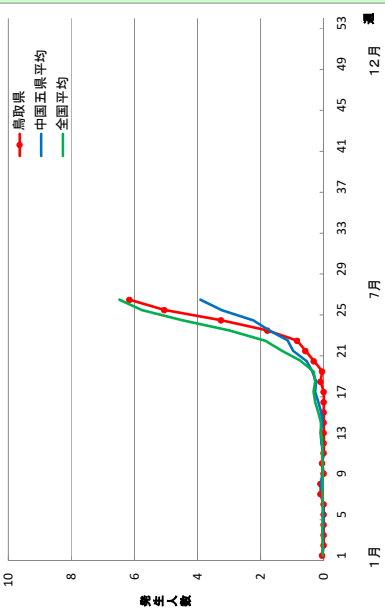
伝染性紅斑



突発性発疹

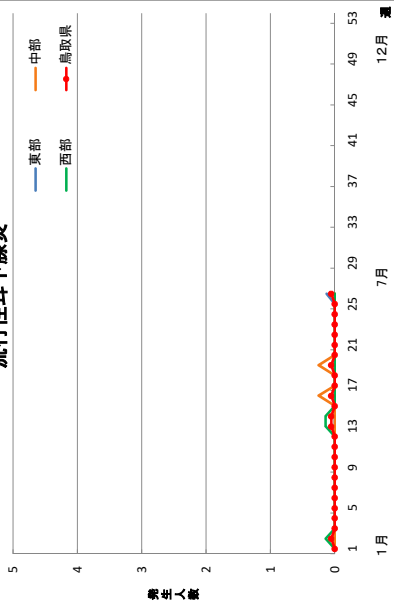


ヘルパンギーナ

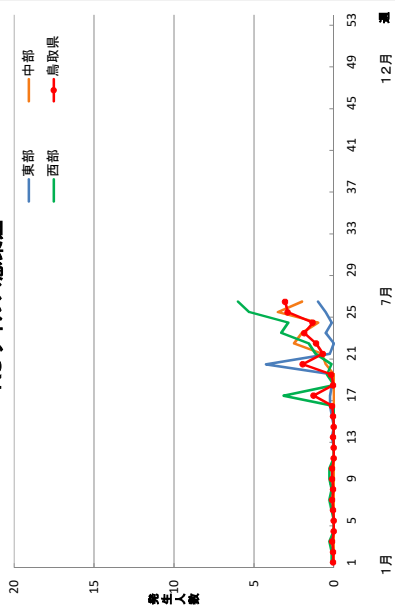


地区発生状況グラフ(定点当たり)

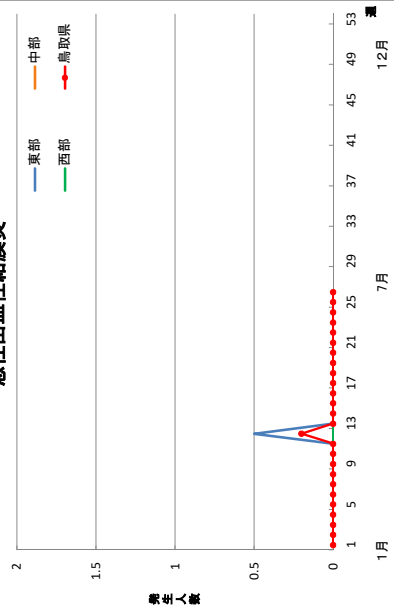
流行性耳下腺炎



RSウイルス感染症

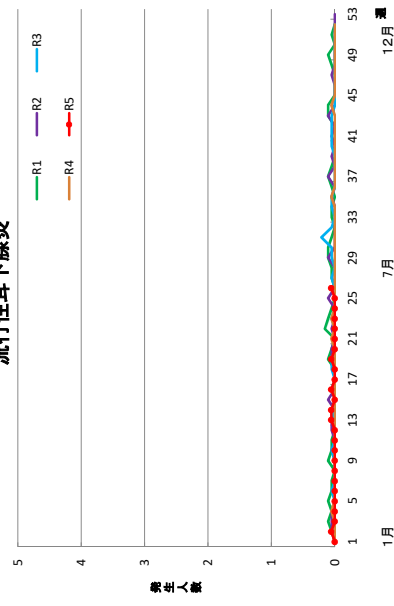


急性出血性結膜炎

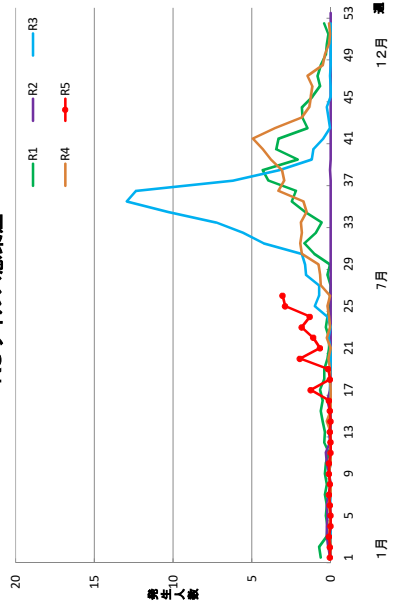


年次別発生状況グラフ(定点当たり)

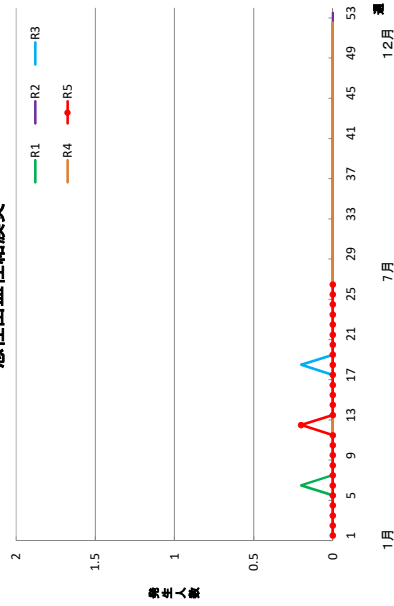
流行性耳下腺炎



RSウイルス感染症

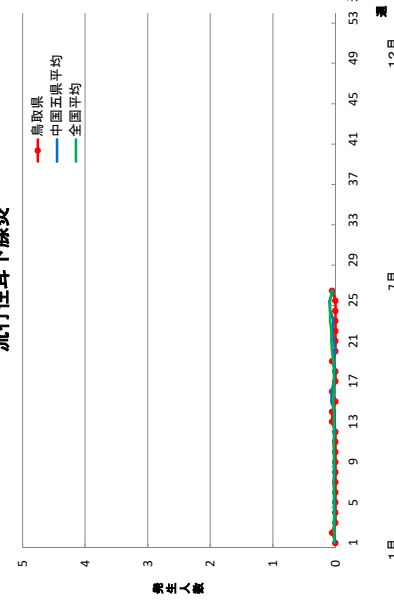


急性出血性結膜炎

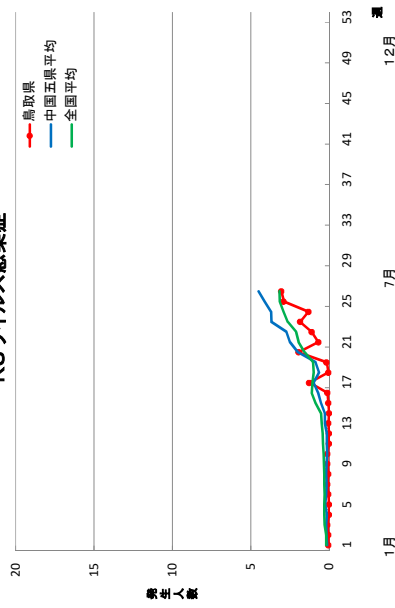


中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

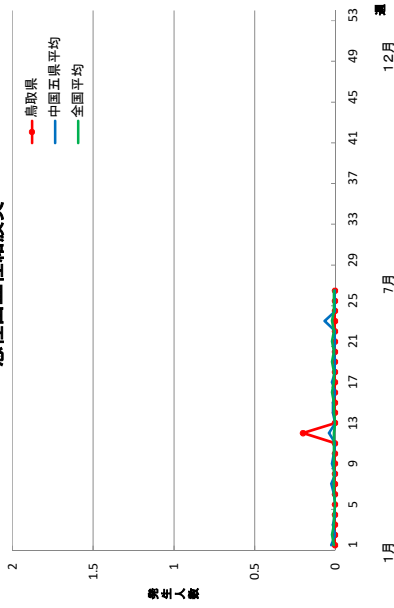
流行性耳下腺炎



RSウイルス感染症

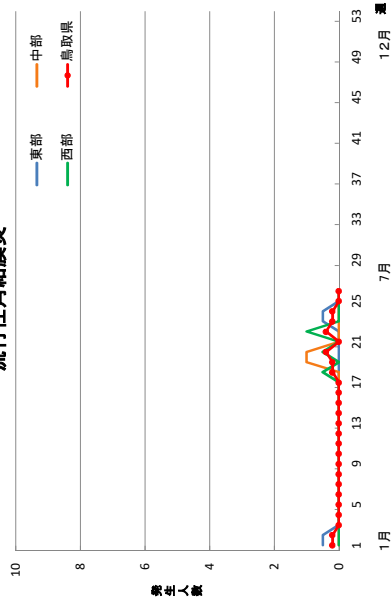


急性出血性結膜炎

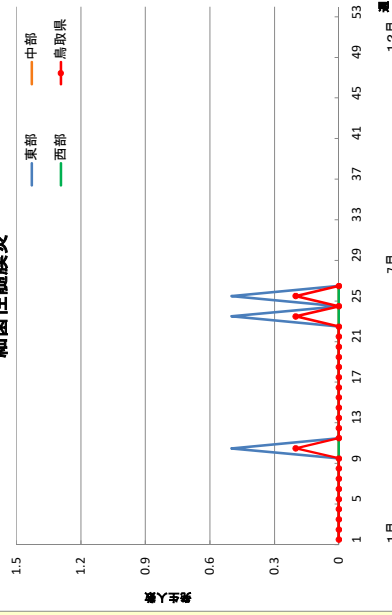


地区発生状況グラフ(定点当たり)

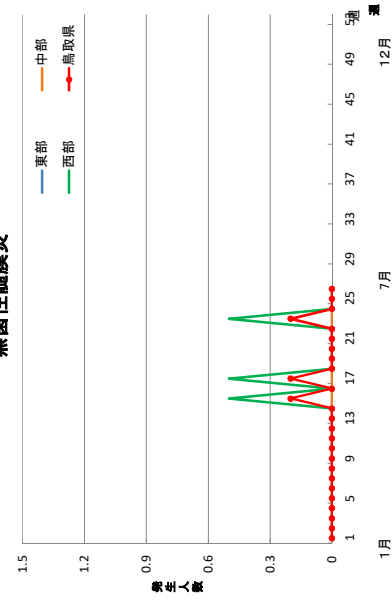
流行性角膜炎



細菌性髄膜炎

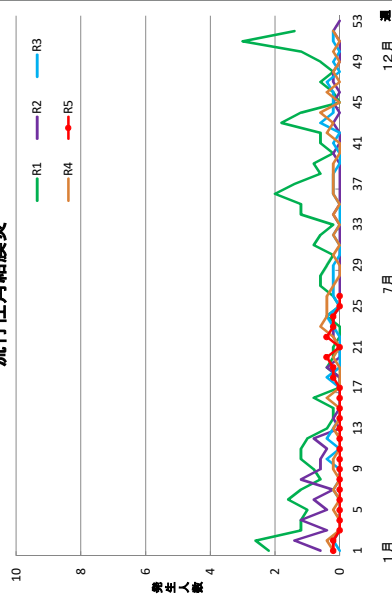


無菌性髄膜炎

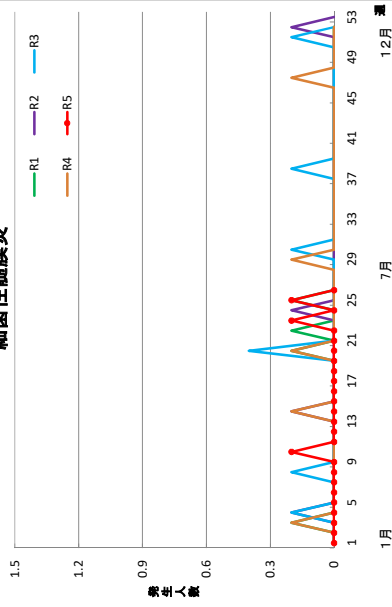


年次別発生状況グラフ(定点当たり)

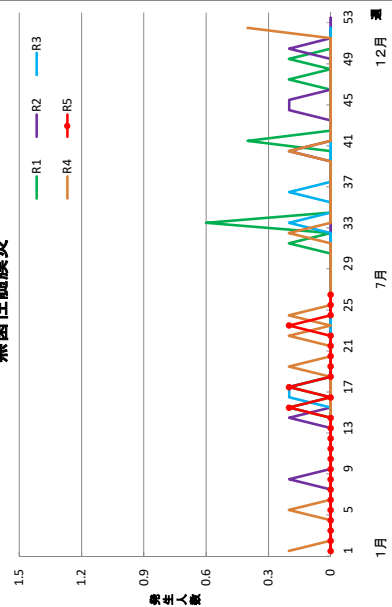
流行性角膜炎



細菌性髄膜炎

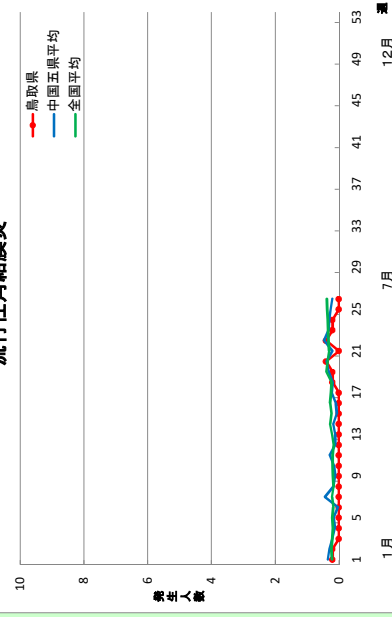


無菌性髄膜炎

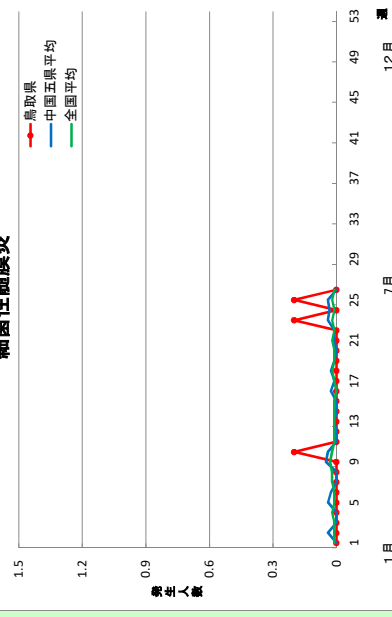


中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

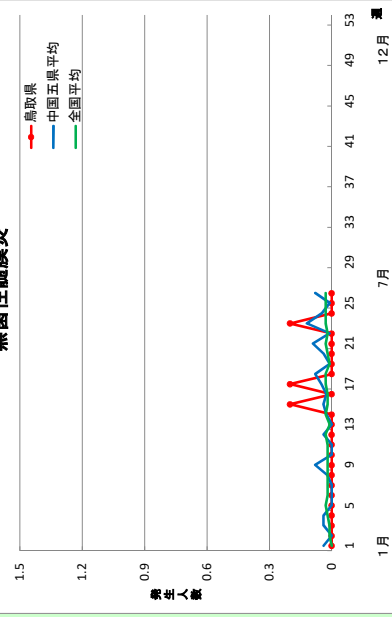
流行性角膜炎



細菌性髄膜炎

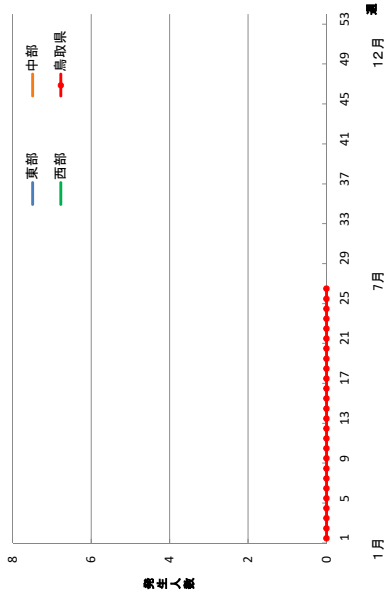


無菌性髄膜炎

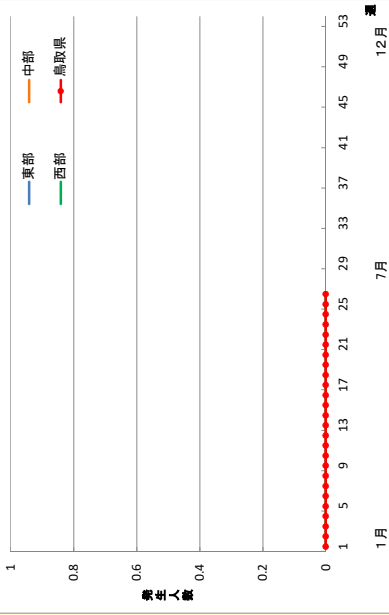


地区発生状況グラフ(定点当たり)

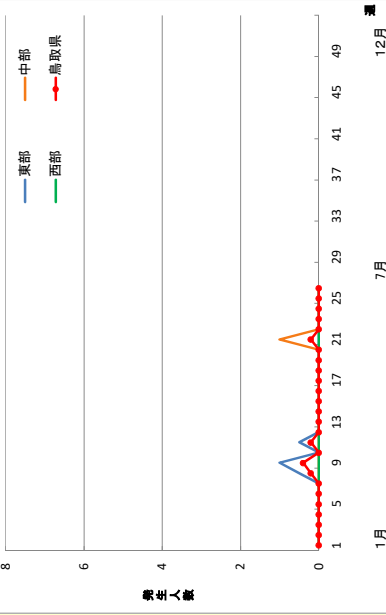
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)

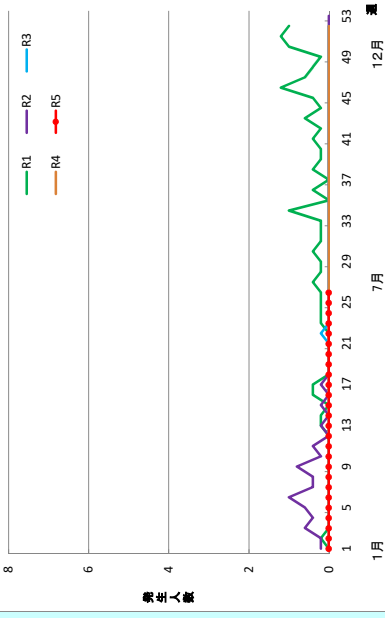


感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

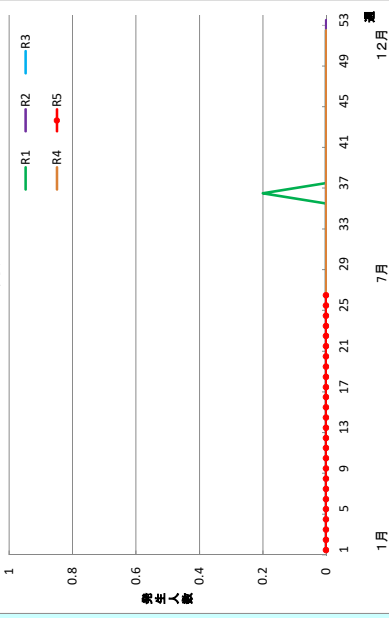


年次別発生状況グラフ(定点当たり)

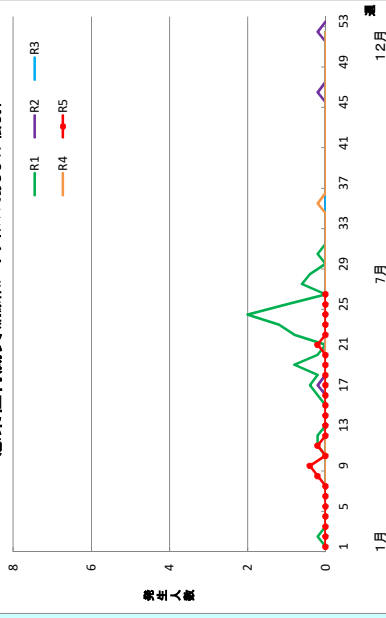
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)

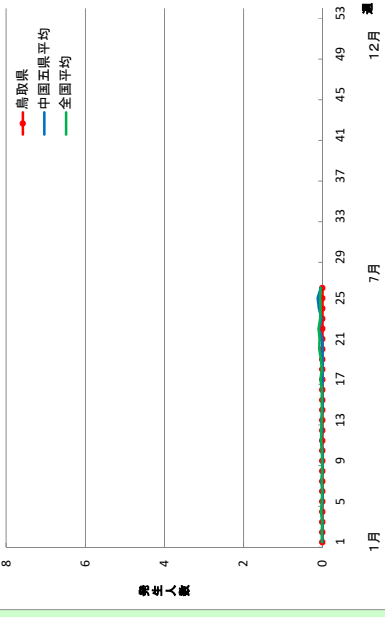


感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

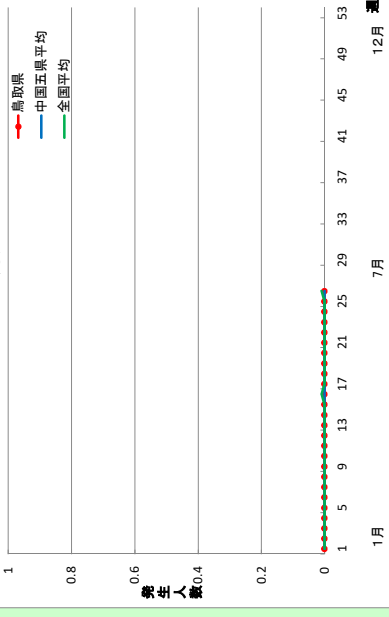


中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

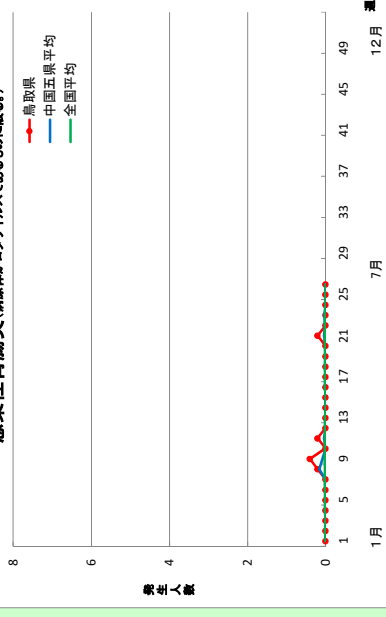
マイコプラズマ肺炎



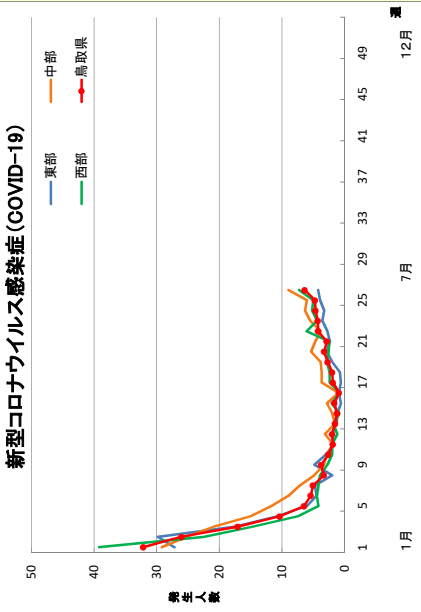
クラミジア肺炎(オウム病を除く)



感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

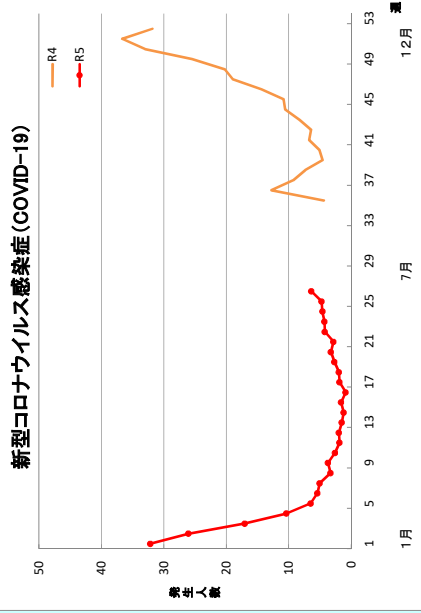


地区発生状況グラフ(定点当たり)

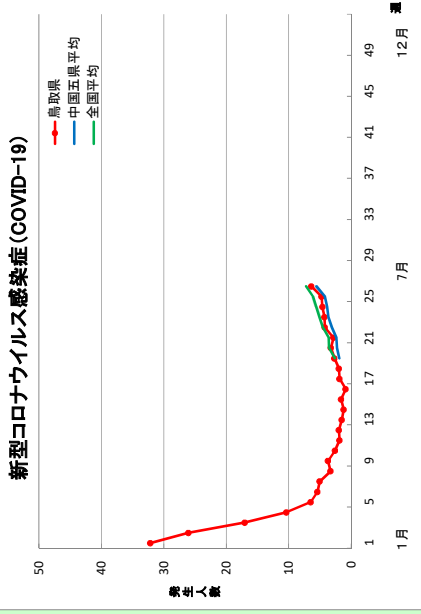


(注) 令和5年第18週(9/1~5/7)までは全数報告分のうち定点医療機関からの報告件数を元に算出。

年次別発生状況グラフ(定点当たり)



中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



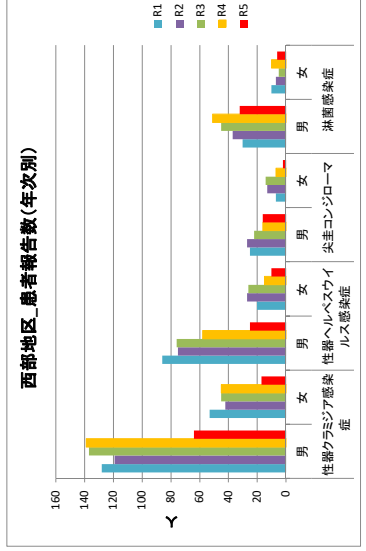
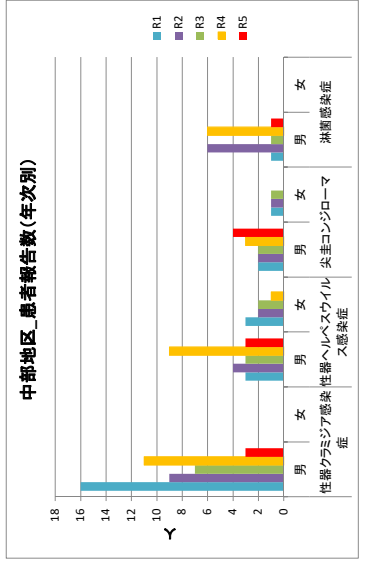
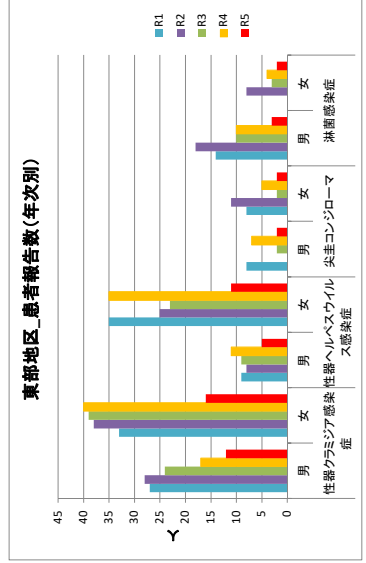
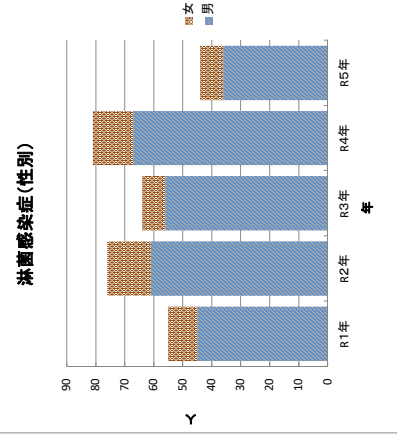
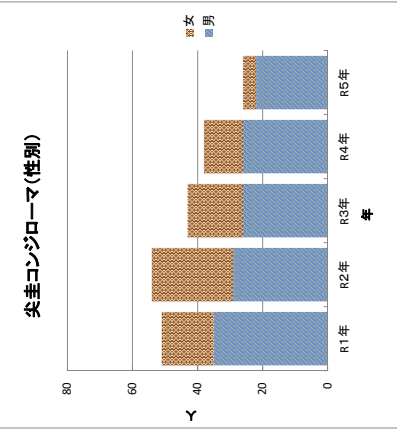
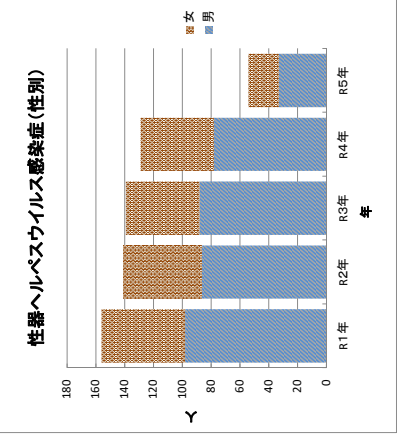
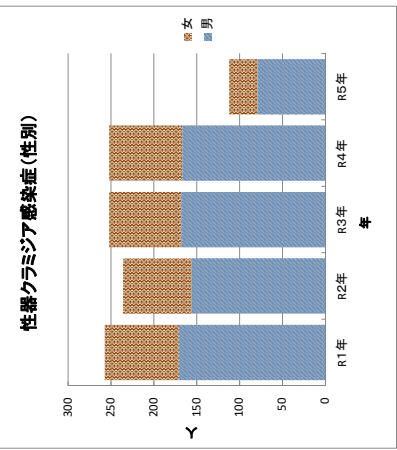
令和4年

定点数	疾病名	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1~12月計		前年累計比率								
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計						
		計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計						
11	性器クラミジア感染症	9	20	13	7	20	6	7	13	18	8	26	14	7	21	17	7	24	11	4	15	21	6	27	10	9	19	167	85	252	99%	101%	100%			
7	性器ヘルペスウイルス感染症	4	11	6	6	12	7	6	13	7	4	11	12	2	14	10	9	19	5	3	8	6	0	6	2	6	8	78	51	129	89%	100%	93%			
0	尖圭コンジローマ	3	1	1	2	1	2	1	2	2	1	3	3	0	3	1	4	3	4	7	3	0	3	2	4	0	0	0	12	38	100%	71%	88%			
2	淋菌感染症	3	3	3	0	3	12	0	12	6	2	8	5	0	5	2	1	3	10	2	12	6	3	9	7	1	8	4	0	67	14	120%	175%	127%		
3	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2	5	7	4	11	5	6	11	5	2	7	4	3	12	3	15	3	1	4	8	3	9	6	3	9	64	38	102	103%	97%	101%				
0	ペニシリン耐性球菌感染症	1	0	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	4	10	300%	133%	200%
3	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

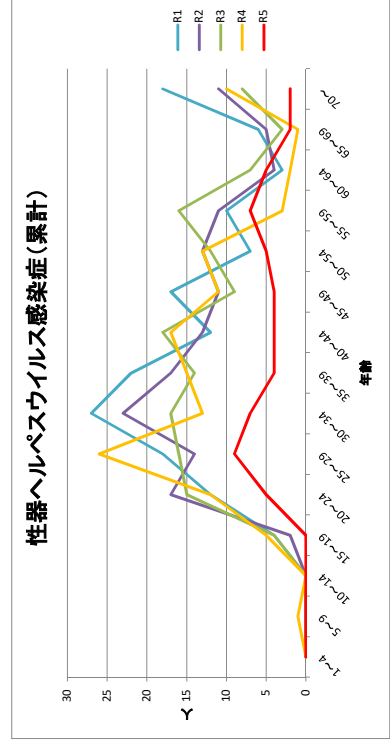
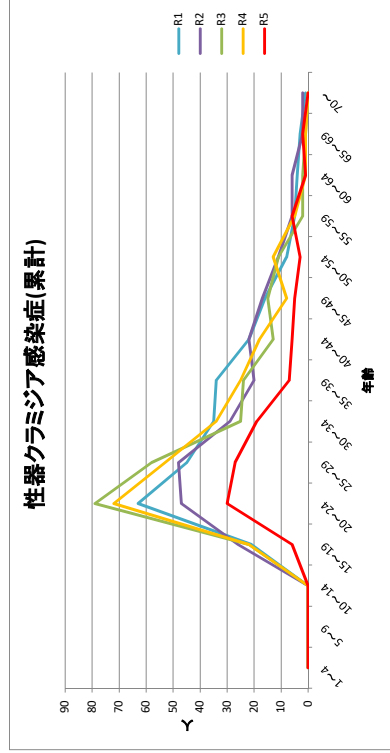
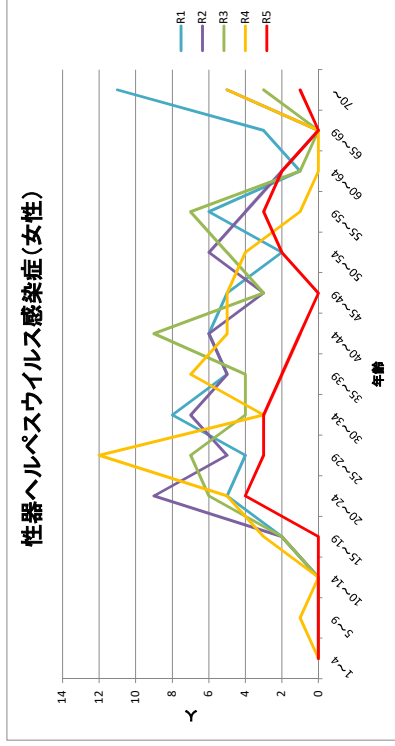
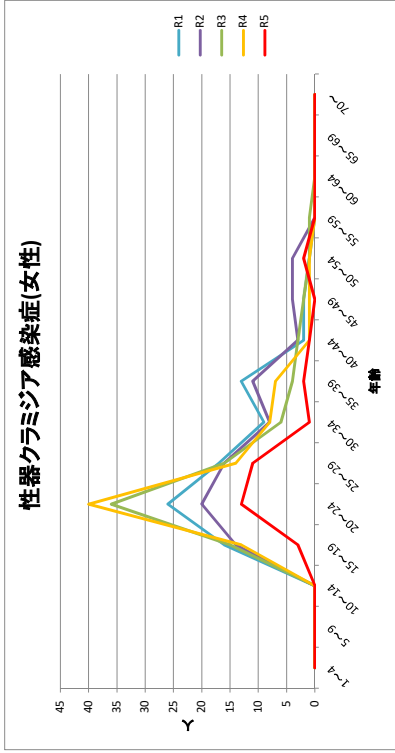
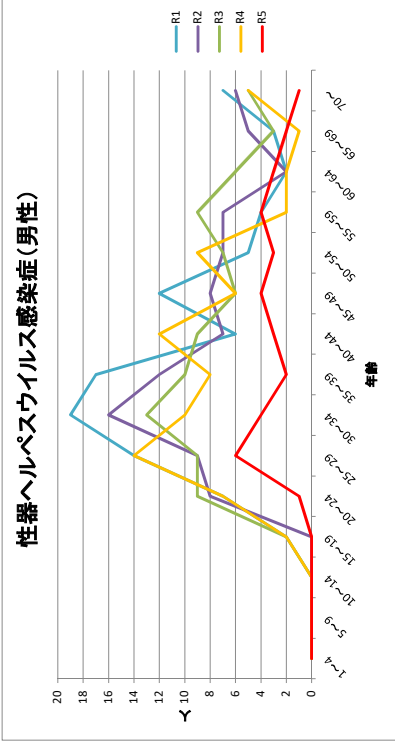
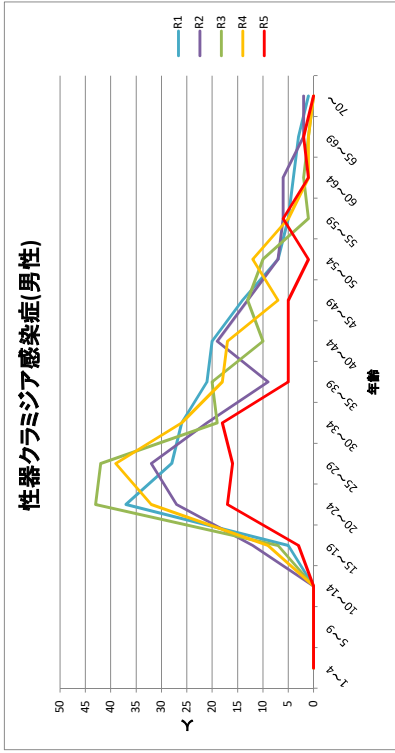
令和5年

定点数	疾病名	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		6月計		前年6月末累計比率									
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計									
		計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計							
10	性器クラミジア感染症	5	15	14	6	20	8	3	11	22	6	28	12	7	19	13	6	19																			
5	性器ヘルペスウイルス感染症	2	7	4	6	10	4	2	6	9	6	15	5	2	7	6	3	9																			
3	尖圭コンジローマ	1	4	1	0	1	0	1	1	5	1	6	4	0	4	9	1	10																			
5	淋菌感染症	1	6	3	0	3	9	2	11	8	0	8	6	3	9	5	2	7																			
6	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	5	11	4	1	5	4	4	8	4	5	9	9	7	16	3	4	7																			
0	ペニシリン耐性球菌感染症	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	1	0	1	0	1	0	2																			
0	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																			

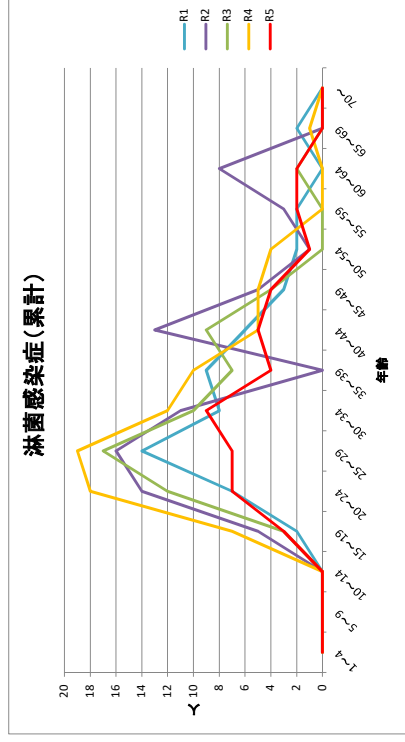
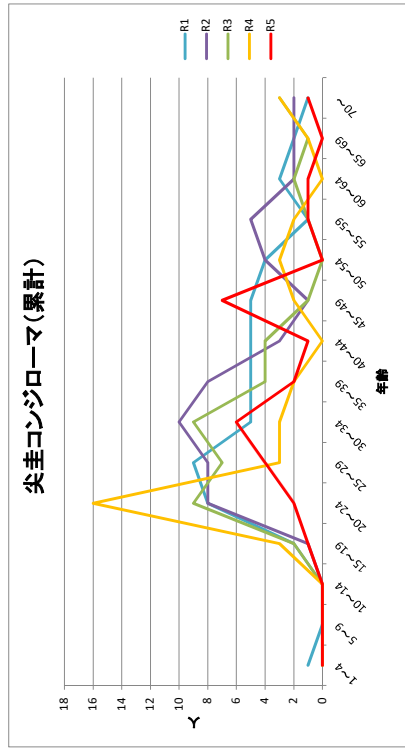
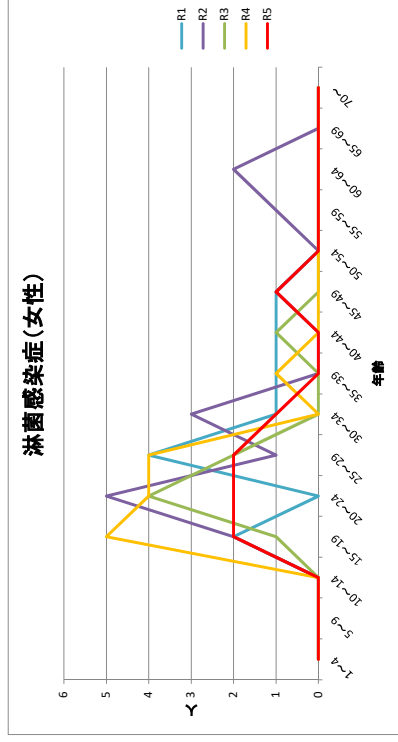
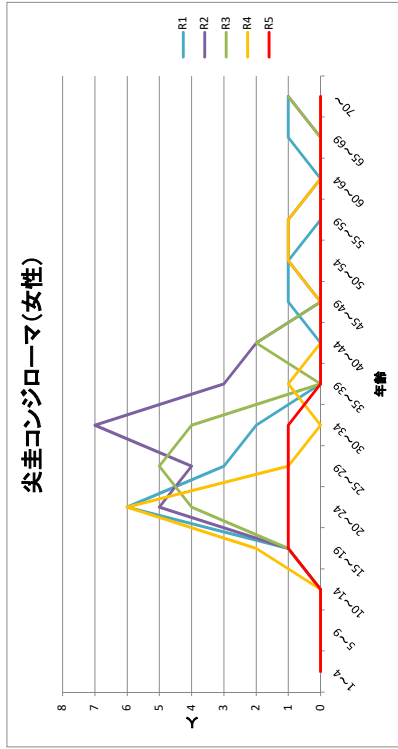
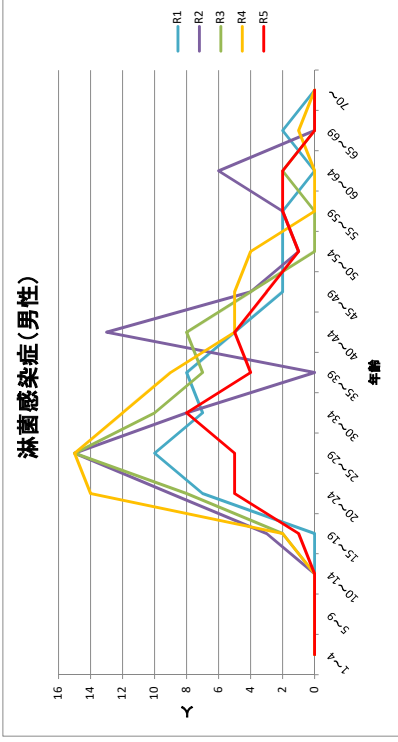
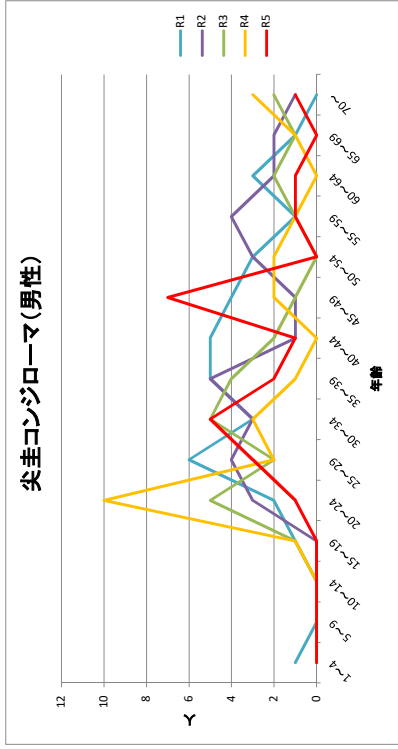
※各年毎に1月から12月の定点医療機関からの累計患者報告数です。



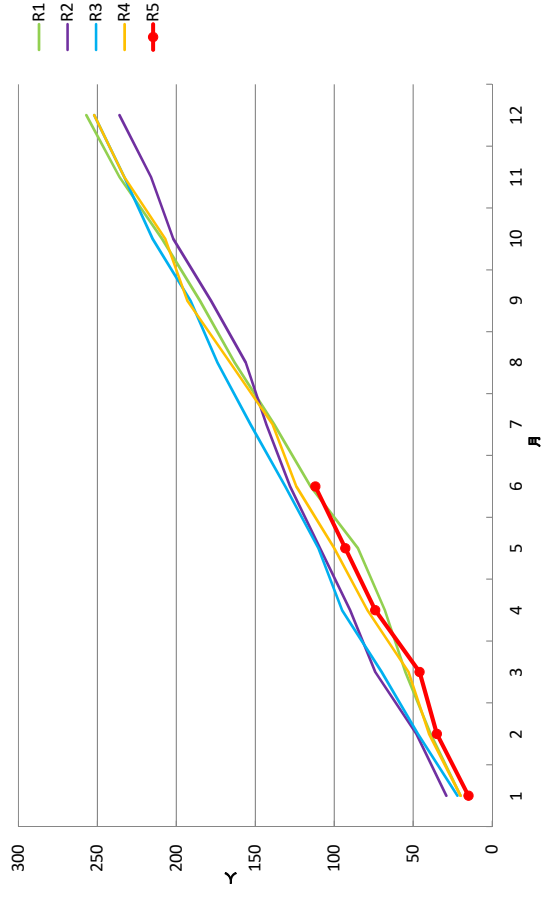
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



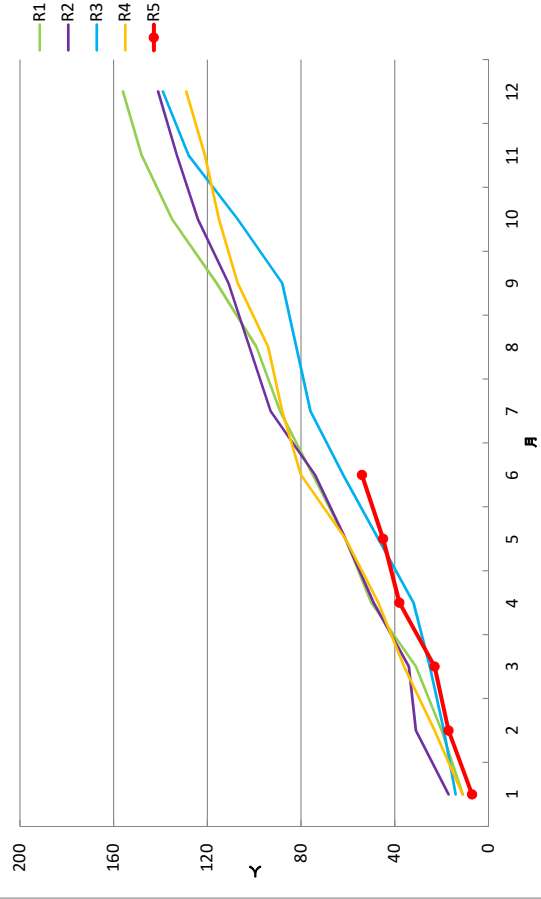
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



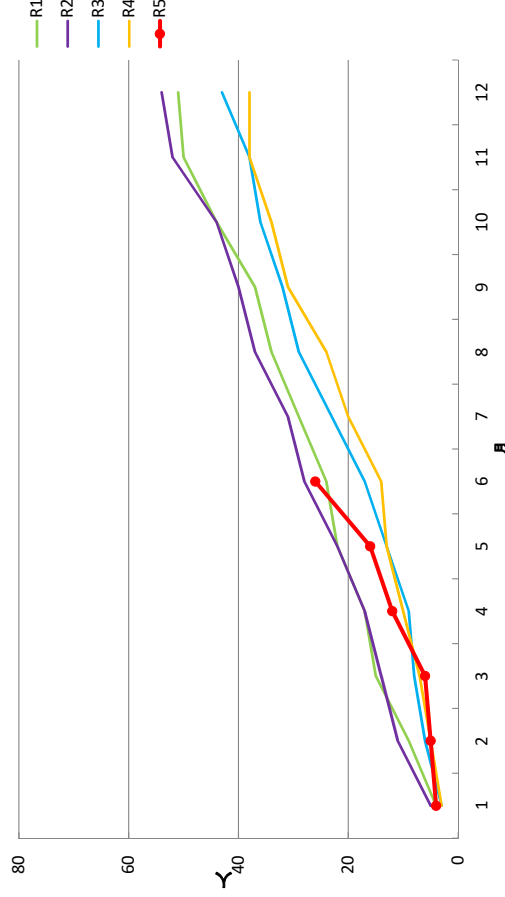
性器クラミジア感染症報告状況(累計)



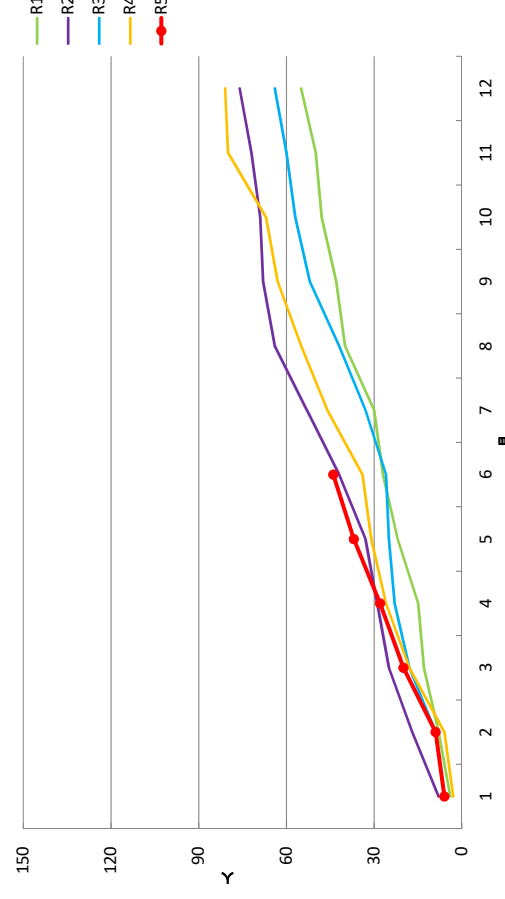
性器ヘルペスウイルス感染症報告状況(累計)



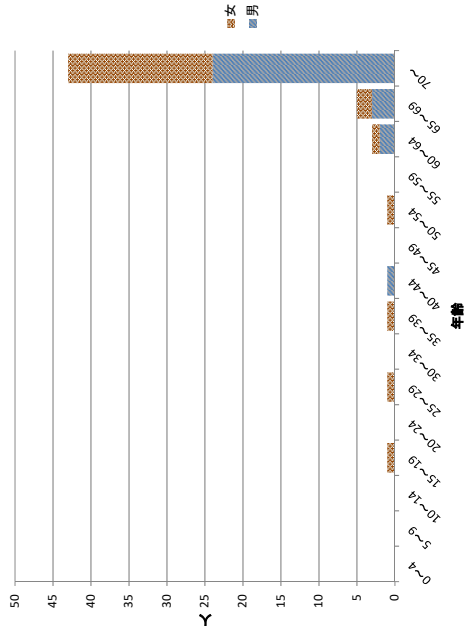
尖圭コンジローマ報告状況(累計)



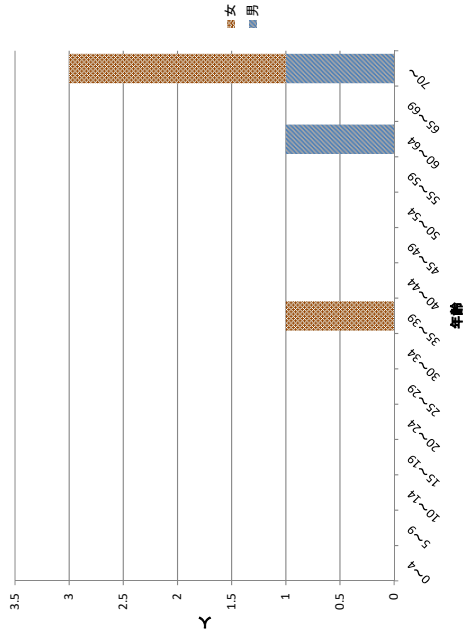
淋菌感染症報告状況(累計)



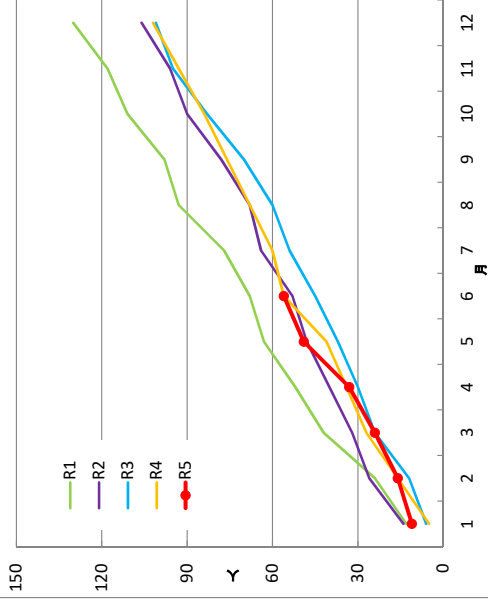
令和5年 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症
(年齢別累計)



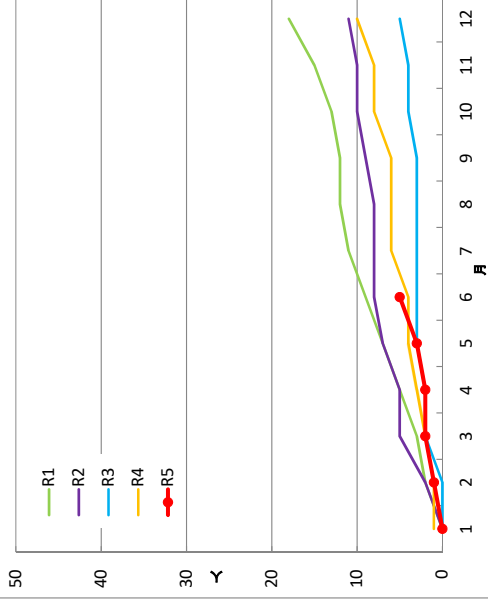
令和5年 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症
(年齢別累計)



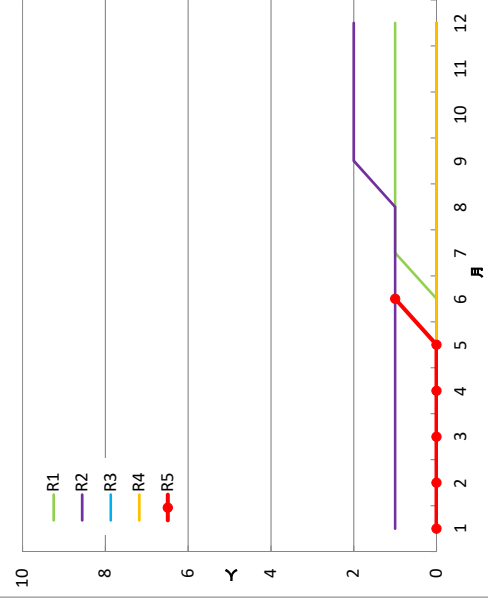
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症報告状況(累計)



ペニシリン耐性肺炎球菌感染症報告状況(累計)



薬剤耐性緑膿菌感染症報告状況(累計)



鳥取県における感染症発生状況(全数報告分・令和5年)

令和5年6月30日 現在
※()は前年数値

(1)2類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													6月時点	年間	
急性灰白髄炎													0	(0)	(0)
結核	1 (8)	2 (11)	5 (3)	2 (5)	5 (4)	2 (6)	(1)	(3)	(5)	(6)	(2)	(3)	17	(37)	(57)
潜在性結核 ※再掲	(2)	(5)	2 (2)	(1)	1		(1)	(3)	(1)	(2)		(1)	3	(10)	(18)
疑似症患者 ※再掲													0	(0)	(0)
ジフテリア													0	(0)	(0)
重症急性呼吸器症候群													0	(0)	(0)
中東呼吸器症候群													0	(0)	(0)
鳥インフルエンザ(H5N1)													0	(0)	(0)
鳥インフルエンザ(H7N9)													0	(0)	(0)

(2)3類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													6月時点	年間	
コレラ													0	(0)	(0)
疑似症 ※再掲													0	(0)	(0)
細菌性赤痢													0	(0)	(0)
腸管出血性大腸菌感染症			(2)			1 (1)	(2)	(3)			(3)	(3)	1	(3)	(14)
腸チフス													0	(0)	(0)
パラチフス													0	(0)	(0)

(3)4類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													6月時点	年間	
マラリア												(1)	0	(0)	(1)
E型肝炎													0	(0)	(0)
A型肝炎													0	(0)	(0)
つつが虫病	(1)			1	(1)								1	(2)	(2)
日本紅斑熱				(1)	1	(3)			(2)	(2)	(1)		1	(4)	(9)
重症熱性血小板減少症候群			1						(1)				1	(0)	(1)
レジオネラ症	1	(2)	(1)	1	2 (2)	2 (1)		(3)	(3)	(1)			6	(6)	(13)
レプトスピラ症													0	(0)	(0)
デング熱						1							1	(0)	(0)
チクングニア熱													0	(0)	(0)

(4)5類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													6月時点	年間	
アメルバ赤痢			1		(1)	1							2	(1)	(1)
ウイルス性肝炎(E型・A型肝炎を除く)				1									1	(0)	(0)
急性脳炎(ウエストナイル脳炎及び日本脳炎等を除く)	(1)	(1)			2	(1)							2	(3)	(3)
クリプトスポリジウム症		1											1	(0)	(0)
クロイツフェルト・ヤコブ病													0	(0)	(0)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1				1 (1)	(1)			(1)			2	(1)	(3)
後天性免疫不全症候群			2		1							(1)	3	(0)	(1)
無症候性キャリア ※再掲			1		1								2	(0)	(0)
AIDS ※再掲			1										1	(0)	(0)
侵襲性インフルエンザ菌感染症										(1)	(1)	(1)	0	(0)	(3)
侵襲性髄膜炎菌感染症													0	(0)	(0)
侵襲性肺炎球菌感染症	1 (1)	1	1 (1)	(2)		2 (1)		(2)	(1)	(1)	(1)		5	(5)	(10)
水痘(入院例に限る。)				(1)									0	(1)	(1)
梅毒	1	6 (3)	1 (1)	4 (3)	3 (1)	4	(3)		(1)		(2)	(1)	19	(8)	(15)
播種性クリプトコックス症			2			(1)					(1)		2	(1)	(2)
破傷風													0	(0)	(0)
薬剤耐性アシネトバクター感染症													0	(0)	(0)
カルバペネム耐性腸内細菌感染症		2	1	(1)	(1)						(1)		3	(2)	(3)
ジアルジア症			(1)										0	(1)	(1)
百日咳				1	1 (1)	1	(1)			(1)			3	(1)	(3)
麻しん						1							1	(0)	(0)
風しん													0	(0)	(0)

(5)新型コロナウイルス感染症(5/8以降定点把握)

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月(7日まで)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													6月時点	年間	
新型コロナウイルス感染症	22,907(2063)	4,687(3097)	2,336(2588)	1,483(2912)	464(2877)	(1440)	(1239)	(2546)	(8376)	(5882)	(13300)	(29552)	31,877	(13537)	(110429)

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況

① 月別件数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
													6月時点	年間
令和5年						1							1 (0)	1 (0)
令和4年		2 (2)				1	2	3			3 (1)	3	0 (0)	14 (3)
令和3年	1		3 (2)	1 (1)	2 (1)	2 (1)	1 (1)						1 (0)	10 (6)
令和2年			1		2 (1)	7 (1)	2	3 (2)	7 (4)	3 (1)		1	0 (0)	26 (9)
令和元年		1	1		6 (1)	1	2	4 (1)		3 (2)	4	2 (2)	0 (0)	24 (6)
平成30年					3	1	4 (2)	9	4	1			0 (0)	22 (2)
平成29年	1 (1)			1	1 (1)	7 (3)	5 (2)	1			4 (3)	1 (1)	1 (1)	21 (11)
平成28年						5 (4)	3 (1)	6 (1)	1			1 (1)	0 (0)	16 (7)
平成27年						3 (2)	33 (23)	12 (7)	10 (6)	1 (1)	1		0 (0)	60 (39)
平成26年					7 (4)	1	1	1		5 (3)			0 (0)	15 (7)
平成25年		1 (1)			1		6	7 (3)	4 (1)	7 (2)			0 (0)	26 (7)
平成24年						2	1	5 (1)		6 (2)		1	0 (0)	15 (3)
平成23年				1	5 (2)	3 (2)		2 (1)	3 (1)	4 (2)	1	1	0 (0)	20 (8)

② 血清型別件数

区分	O8	O26	O29	O91	O103	O119	O111	O121	O125	O128	O145	O146	O157	型不明	計
令和5年													1		1 (0)
令和4年					3							2 (2)	8	1 (1)	14 (3)
令和3年					4 (2)							1 (1)	3 (1)	2 (2)	10 (6)
令和2年	1	4 (2)	1		4 (2)		3 (1)		1 (1)	1		1 (1)	7	3 (2)	26 (9)
令和元年					3 (1)		4 (1)						15 (2)	2 (2)	24 (6)
平成30年		2			3						1		16 (2)		22 (2)
平成29年		1			2 (1)		4 (3)					1 (1)	10 (3)	3 (3)	21 (11)
平成28年		1 (1)											14 (5)	1 (1)	16 (7)
平成27年		40 (28)		1	4 (2)		1					1 (1)	9 (4)	4 (4)	60 (39)
平成26年		7 (4)					5 (3)						3		15 (7)
平成25年		3 (1)						1					21 (5)	1 (1)	26 (7)
平成24年													15 (3)		15 (3)
平成23年		9 (4)			2 (1)								7 (2)	2 (1)	20 (8)

③ 年齢別件数

区分	～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
令和5年				1								1 (0)
令和4年	5	1	2	1	1	2 (1)				2 (2)		14 (3)
令和3年	1		1 (1)		1 (1)			1 (1)	1 (1)	3 (2)	2	10 (6)
令和2年	7	2	2	2	1 (1)	4 (4)	3 (1)	3 (3)			2	26 (9)
令和元年	9 (2)	2			4 (2)	2		1 (1)	3 (1)	3		24 (6)
平成30年	2	2			10 (1)	3 (1)	1	2	1		1	22 (2)
平成29年	3 (1)	1	2 (1)	2 (1)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	4 (3)	4 (1)		1	21 (11)
平成28年	4	4 (3)		1	2 (1)	3 (2)	1 (1)				1	16 (7)
平成27年	22 (13)	18 (12)	2 (1)	2 (2)	4 (4)	6 (3)	1 (1)	3 (2)			2 (1)	60 (39)
平成26年	6 (1)	3 (1)				2 (2)	2 (2)	1		1 (1)		15 (7)
平成25年	6	2	3 (1)	1	3 (1)	1	2 (1)	1 (1)	2 (1)	3 (1)	2 (1)	26 (7)
平成24年	3	3 (1)	3	1	2	2 (2)			1			15 (3)
平成23年	4 (1)	5			3 (1)	3 (2)		1 (1)	2 (2)	1	1 (1)	20 (8)
平成22年	6	4 (3)	1	2	3	2 (2)	1 (1)	1 (1)		1		21 (7)

④ 地区別件数

区分	東部地区	中部地区	西部地区	計
令和5年			1	1 (0)
令和4年	5	(1)	6	3 (2)
令和3年	4	(2)	3 (2)	3 (2)
令和2年	3		15 (5)	8 (4)
令和元年	6	(2)	14 (3)	4 (1)
平成30年	7		5	10 (2)
平成29年	1		8 (4)	12 (7)
平成28年	2	(1)	12 (5)	2 (1)
平成27年	4	(4)	45 (31)	11 (4)
平成26年	1		8 (4)	6 (3)
平成25年	4	(1)	9 (3)	13 (3)
平成24年	7	(2)	1	7 (1)
平成23年			2 (1)	18 (7)

鳥取県病原微生物検出情報

(令和5年6月検出分；検体採取 令和5年5月～6月)

令和5年7月14日
鳥取県衛生環境研究所

1 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の検体4件について、検査を行ったところ、ノロウイルス1件、サポウイルス2件、A群ロタウイルス1件、C群ロタウイルス1件、アデノウイルス2件、アストロウイルス3件、エンテロウイルス3件が検出された。(詳細は表1のとおり)

検出されたアデノウイルスのうちの1件は5型(C種)であった。C種は扁桃に持続感染し、小児の糞便中に間欠的に排出されることが知られており、検出されたウイルスと感染性胃腸炎との因果関係ははっきりしなかった。また、エンテロウイルスのうち2件はコクサッキーA2型であったが、コクサッキーA群はヘルパンギーナの原因ウイルスとして知られており、エンテロウイルス感染としての性格上、回復後にも2～4週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがある。現在ヘルパンギーナが流行していることから、ウイルスが感染性胃腸炎とは無関係に検出された可能性も考えられた。

4検体のうち3検体から複数のウイルスが検出され、全てのウイルスについて感染性胃腸炎と因果関係ははっきりしないものの、混合感染による胃腸炎の可能性が示唆された。

表1 感染性胃腸炎検査状況

検体番号	検体採取時期	ノロウイルス	サポウイルス	A群ロタウイルス	C群ロタウイルス	アデノウイルス	アストロウイルス	エンテロウイルス
230011	5月中旬	(-)	検出 (Ct値27)	(-)	(-)	(-)	検出 (Ct値40)	(-)
230012	5月中旬	検出 (Ct値28) G II.4	(-)	(-)	(-)	検出 (Ct値41) 型不明	検出 (Ct値17)	検出 (Ct値28) コクサッキーA2型
230013	5月中旬	(-)	検出 (Ct値27)	検出 (Ct値37)	検出 (Ct値26)	検出 (Ct値23) 5型	検出 (Ct値27)	検出 (Ct値28) コクサッキーA2型
230014	5月下旬	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	検出 (Ct値26) コクサッキーB5型
検出計		1件	2件	1件	1件	2件	3件	3件

(-)：未検出

※Ct値が20未満、20以上30未満、30以上の3区分で色分け(Ct値が低いものが濃色)をした。

2 流行性角結膜炎

臨床診断名が流行性角結膜炎の検体1件(検体採取5月上旬(検体番号230009))について、アデノウイルスの検査を実施したところ、アデノウイルス54型が検出された。

3 ヘルパンギーナ

臨床診断名がヘルパンギーナの検体1件(検体採取6月上旬(検体番号230010))について、エンテロウイルスの検査を実施したところ、コクサッキーB5型が検出された。

